

日時：平成 28 年 2 月 23 日（火）10:00～12:00

場所：慶應義塾大学薬学部 2 号館 4 階記念講堂

出席者：病院委員 8 名、薬局委員 8 名、日本保険薬局協会 1 名、日本チェーンドラッグストア協会 1 名、日本病院薬剤師会 1 名、東京都薬剤師会 1 名、薬学教育協議会 3 名、大学委員 38 名、文科省 1 名、代理およびオブザーバー 12 名

司会進行：吉山副委員長

総会の開始に先立ち、永田氏の藍綬褒章の受賞について報告があった。

1. 報告事項

1) 薬学教育協議会報告（望月代表理事）

- ・ 資料 1-1 ①②に基づき報告された。平成 27 年度第 I 期および第 II 期実務実習の報告書（全国）が提出された。平成 26 年度実務実習実施結果において、ふるさと実習をさらに推進したい旨報告された。改訂モデル・コアカリに関する事前調査を行ったこと、文科省委託事業に応募したことが報告された。
- ・ 病院における長期実務実習に対する基本的な考え方、私立薬科大学協会から提出された実務実習についての問題点等の検討、Web システムに関するアンケート調査について報告された。また、臨床系教員の再研修については診療補助従事者という形であれば費用その他が発生することはないとの意見が紹介された。
- ・ 資料 1-1-3 ①②③に基づき、支部運営規定の骨子については須田氏から報告された。薬学教育協議会を本部、地区調整機構を支部とすること、本部理事会の承認により支部長の立場が強化されることが提示された。支部は実習施設の割り振りをするだけでなく、実習の充実・改善と円滑な実施にかかわる事業を行うこと、支部構成員、支部組織、支部役員会について説明された。また、支部の運営に関する規則が解説された。
- ・ 関東地区調整機構はこの規則に沿って運営されていると伊東委員長より発言があった。また、支部委員は議決権のある人（各大学 1 名）であることが確認された。

2) 平成 27 年度第 I 期、第 II 期実務実習実施状況（伊東委員長）

- ・ 資料 1-1-2-①②に基づき、平成 27 年度第 I 期および第 II 期実務実習の報告書が解説された。

3) 平成 28 年度病院薬局実務実習割り振り結果（伊東委員長）

- ・ 資料 1-3 に基づき報告された。割り振りは終了している旨報告された。

4) 平成 28 年度ふるさと実習割り振り状況（伊東委員長）

- ・ 資料 1-4 に基づき報告された。関東地区から他地区へは病院が 26 施設、薬局が 31 施設。他地区から関東地区へは病院が 24 施設、薬局が 29 施設と報告された。

5) 小委員会報告

- (1) 大学小委員会：特に報告はない。実習終了後の報告書の提出をお願いする（三原）
- (2) 病院小委員会：特に報告はない（橋本）
- (3) 薬局小委員会：特に報告はない（山田）
- (4) 指導薬剤師養成小委員会（小佐野）

- ・ 資料 1-5-4 A B C D Eに基づき報告された。来年以降、WS のプログラムが変更される。タ

スクフォースのスキルアップ研修会、今までの指導薬剤師に対する OBE の伝達としてのアドバンスト WS、新 WS という 3 段階で実施していく旨説明された。アドバンスト WS は 1 日コース。慣れてきたら半日コースや DVD 視聴も考慮する。新 WS より、まずはアドバンスト WS を優先したいと報告された。

- ・ スキルアップ研修会およびアドバンスト WS の調査結果が報告された。

(5) トラブル防止小委員会 (嶋田)

- ・ 資料 1-1-2-①、資料 1-1-2-②、資料 1-5-5 に基づき報告された。I 期および II 期の実習実施時のトラブルについて説明し、指導薬剤師の指導が厳しすぎると起きやすいと指摘された。

6) 改訂コアカリに基づく薬学実務実習に関する事前調査報告 (伊東委員長)

- ・ 資料 1-6 に基づき報告された。8 地区でほぼ同じ傾向の結果となった。関東地区の病院の回答率が低いのは独自契約の施設が回答していないことが要因。
- ・ 関東地区では I 期の薬局人数を基準 (1) にすると、II 期 2、III 期 2 となった。薬局一病院の順番で実習を行うことが提案された。

7) 関東地区調整機構、実務実習のためのワークショップ開催報告 (伊東委員長)

資料 CD を参照して欲しいと説明された。

8) 平成 27 年度関東地区調整機構予算執行状況 (永田)

資料 1-8 に基づき予算執行状況が報告された。

9) その他

2. 審議事項

1) 平成 27 年度第 1 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会議事録 (案)

資料 2-1 に基づき、平成 27 年 5 月 11 に開催された第 1 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会の議事録 (案) が承認された。

2) 平成 27 年度補正予算案 (永田)

資料 2-2 に基づき、平成 27 年度補正予算案が説明され、承認された。

3) 平成 28 年度事業計画案 (伊東委員長)

資料 2-3 に基づき、平成 28 年度事業計画案が説明され、承認された。

4) 平成 28 年度予算案 (永田)

資料 2-4 に基づき、平成 28 年度予算案が説明され、承認された。

5) 平成 29 年度エントリー日程 (病院・薬局) 案 (伊東委員長)

資料 2-5 に基づき、平成 29 年度エントリー日程 (病院・薬局) が説明され、承認された。

6) 平成 29 年度病院・薬局実務実習割り振り日程案 (伊東委員長)

資料 2-6 に基づき、平成 29 年度病院・薬局実務実習割り振り日程案が説明された。異議については 2 月末まで受け付ける旨提案があり、承認された。

追加資料 : 平成 30 年度の実習時期案 (伊東委員長)

- ・ 平成 31 年度より 4 期制にするには、平成 30 年度の実習をずらす必要がある (平成 30 年度の III 期と平成 31 年度の I 期が重ならないようにする)。
- ・ 4/9 開始で 12 月中に終了する案、4/16 開始で祝日を考慮せず 12 月中に終了する案、4/23 開始で祝日を考慮せず盆暮れ 1 週間休みで 1/20 に終了する案、5/7 開始で祝日を考慮せず期と期の

間をあげず 12/24 に終了する案が提案された。

7) その他（伊東委員長）

- (1) アドバンスト WS における修了証（関東地区調整機構名）の発行について
資料なし。修了証（関東地区調整機構名）の発行について提案があり、2 月のアドバンスト WS に遡って発行することも含めて承認された。
- (2) 事務局長、監事の選任について
支部規定に沿って、次回総会にて事務局長、監事を選任することが提案され（予算は予備費から）承認された。
- (3) 薬局実習の割り振り方法に関する検討 WG の設置について
山田委員をリーダーとして WG を設置（メンバーはリーダーに一任）することが承認された。
- (4) 新たな実務実習に向けた WG の設置について
吉山副委員長をリーダーとして WG を設置することが承認された。

最後に、文科省の前島一実氏より改訂コアカリに準じた実務実習の実施についての期待が表明された。

（文責 三原 潔）